



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

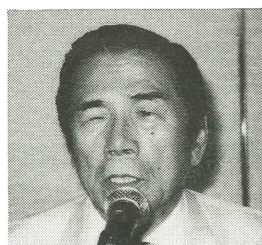
『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 8月1日／第522回例会

◎卓話 イニシエーション・スピーチ 「たかが紙、されど紙」

当クラブ会員・(株)ヤマト 取締役 杉 山 好一郎 君

◎先週報告 7月25日／第521回例会



田 端 義 夫 氏

◎卓話「歌手生活58年、私の生きざま」 日本歌手協会会長 田 端 義 夫 氏 ◎親睦活動委員会報告(高須委員長) 暑気払いの会のご案内

8月25日(月)18:00から、「屋形舟」にて暑気払いの会を開催します。ご家族の皆様お誘いの上、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。集会場所は浜松町の舟宿はしや。18:00の出航ですので、お早めにご集合下さい。

◎ロータリー情報委員会報告(田辺委員長)「ロータリー国際大会について」

本年のロータリー国際大会は、去る6月英国グラスゴーで開催された。登録者は132ヶ国から23,502名、日本から2,884名と米国・英国に次ぐ第3位の多数登録であった。

尚、2004年の国際大会は大阪で2640、2650、2660、2680の4地区合同ホストで開催される事が決定されている。

◎青少年交換委員会報告(宮本カウンセラー) 派遣交換学生・都築さん帰国報告

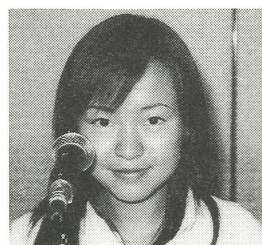
昨年8月14日に米国へ出発した青少年交換学生都築麻衣子さんが、1年間のネブラスカ州コロロンブス高等学校での留学を終え素晴らしく成長されて7月13日帰国しました。

都築麻衣子さん「小さい頃からの夢であったアメリカ留学が実現し、沢山のひと話し友好を深めることが出来たこのチャンスを下さった東京新南RCに感謝いたします。」

◎慶事披露●100%出席／宮本正祥君(10年) 武下 朗君(8年)

◎出席報告●会員70名・出席48名・欠席22名(出席規定免除者1名)

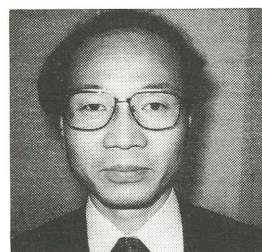
ビジター(3名敬称略・順不同)／木多良輔(東京恵比寿)、Gruber Willy、下村 渥(以上東京南) ゲスト(4名)／水原信太郎氏(小湊会員ゲスト)、圓谷正和氏、大山哲人氏(宮本会員ゲスト)、都築麻衣子さん(派遣青少年交換学生)



都 築 麻 衣 子 さん

新会員のご紹介 (97年7月25日ご入会)

フク シマ ケン ヤ 君 福 島 賢 哉 君



生年月日 1947年10月23日生(49歳)
事業所 (株)賢プランズ設計事務所
役 職 代表取締役社長
所在地 〒165 中野区新井4-18-10
福島ビル101
T E L 03 (3388) 6051
F A X 03 (3388) 6040

職業分類 建築内装設計
住 所 〒350-12 埼玉県日高市
高萩新田118-10
T E L 0429 (85) 2859 (FAX兼用)
推 薦 者 宮本正祥君、荒木昭文君

◎8月行事予定

8月は

会員増強
拡大月間

です。

1日(金) 8月定例理事会／東京全日空ホテル 1F 孔雀の間 例会後13:40～15:00

5日(火) 火 曜 会／東京全日空ホテル 37F アストラル 17:30～19:15

6日(水) 地区バギオ基金説明会／京王プラザホテル 43F コメット 14:00～16:00

15日(金) 休 会(夏休み)

25日(月) 暑気払いの会／船宿はしや(浜松町) 18:00 集合、2時間半のコース

28日(木) 地区雑誌広報委員長会議／新高輪プリンスホテル 飛鳥の間 13:30～16:30

回クラブセミナー「変わるロータリー」・続

7月18日/第520回例会

ロータリー情報委員長 田 辺 賢 三

ロータリーの原点と最近の流れ

ロータリー運動が今日の発展を遂げた原動力は、優れた会員たちによる「ロータリー哲学」の探求が絶えず行われたことであろう。この点は、他の如何なるクラブにも見られない卓越した特徴と云えよう。そしてこの理念探求に指導的役割を果たしたのが、かのArthur Frederic Sheldonであった。Sheldonは職業倫理の向上を呼びかけ、やがて奉仕(Service)の概念に到達する。こうしてロータリー思想は、職業倫理を中心として理論的に探求され、シカゴRC誕生後10年を経た1915年、二つの立派なロータリー理念の成果が結実した。

・一つは「ロータリーの職業道德律」が制定されたことである。これは当時存在していた全世界のロータリークラブのアンケートをもとにして、2年の歳月をかけて起草したロータリーの職業観の宣言であって、職業道德の基礎の上にロータリーを置こうとした初期ロータリアンの重大な決意表明であった。

・いま一つは、RIの「理論・教育委員会」委員長のGuy Gundakerが著した「ロータリー通解」と題するロータリー解説書の発行である。ロータリーの基本理念と原則を正確に解説したもので、ロータリアンのなすべきことは、自己の職業において高度な職業倫理を実践し、且つ自己の職業分野の同業者に対し、高度な職業倫理の基準と奉仕の理念の徹底を行うこととしている。そして、地域社会の問題については、良き市民として地域の福祉団体や慈善団体に入会し、そのメンバーとして活動すべきとしている。

これが初期におけるロータリー思想の原点である。

しかし一方、クラブによっては行動派ロータリアンによる地域社会奉仕活動が各地で熱心に行われ始めていた。これらの動きは理論派の強硬な批判と激突し、全米のロータリーは大論争に巻き込まれ、分裂の危機に瀕するのであるが、1923年セントルイス大会に提案されたテネシー州ナッシュビルRCの決議案23-34が両派を裁定し解決したのであった。

この決議は、「奉仕活動を行うに当り、クラブは完全な自主独立性を有す」として、クラブの社会奉仕活動を認めたが、但し「集団奉仕よりも、個人奉仕の方がロータリーの精神により合致している。」

ロータリー誕生18年、ここにロータリーの奉仕活動の指導理念が確立されたのであった。

しかし、いったんクラブの社会奉仕活動が正式に認められると、それまでロータリーの本分とされた職業奉仕に対するロータリアンの熱意は、次第に薄らいだのかロータリアンの関心は単位による社会奉仕活動へと傾斜を強め、更に、クラブ単位のプロジェクトから次第に国際的な或いは世界的な、大型のプロジェクトに傾斜してきた

ようだ。

それには、RI乃至ロータリー財団の積極的な指導による国際的プロジェクトの増加が大きな原因をなしている。

そのようなロータリーの変貌をRIが自ら認めたような出来事が、私たちを驚かせた。

1915年のロータリー大会で決議制定され、RI細則16条に採り入れられていた「ロータリーの職業道德律」が1980年、RI細則から削除されたのである。

もともとこの道德律は、世界各国各地に拡大されそれぞれ自治権を持つロータリークラブの間で、字句の解釈にも意見が一致せず、表現方法の論議に疲れ果てた。

RIも遂に削除にふみ切ったもののようだが、職業奉仕の指導理念としてこれまで、この道德律を順守してきた世界の多くのロータリアンたちの驚きと失望は大きかった。

さて、このことがあってからわずか2～3年後、1983年、今度は「手続要覧」の社会奉仕の章から、ロータリーの社会奉仕の基本理念とされてきた決議23-34の全文が突如削除された。

このことは日本中のロータリアンに大変な波紋を巻き起こした。日本中から巻き起こった抗議・質問に対し、RIの釈明は二転三転し、最後にRIが提案したのが、削除した決議23-34に代わって、社会奉仕についての新声明を86年の規定審議会に提出するというのであった。そして86年に提案された新声明(86-203)に日本の先輩ロータリアン達は強く抗議した。その効あってか審議会当日になってRIはその提案を自ら取り下げたのである。

しかし、これから6年後、1992年の規定審議会にRIは9年前に削除した決議23-34を復活させ、これと併せて新たな92年新声明(92-286)を提出し、結局二つの声明を併せたこの提案は可決された。

この併立する二つの声明は、片や1923年の声明(23-34)が、「クラブの絶対的自立独立性を強調し、且つ個人奉仕を推奨している」のに対し、1992年の新声明(92-286)は、「RIは役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜提案する責務を負っている」としており両声明はまるで整合性がない。

数年前、RIはポリオプラスのプロジェクト完遂をWHOに誓約したが、最近ではUNICEFやUNESCOとの共同プロジェクトを話し合っていることをジャイ直前会長は公言しており、国連機関と共同のプロジェクトを進めようとしているようだ。

ジャイ直前会長は言う、「ロータリーのイメージは20年前、或いは10年前に予想していたものとも、1年前に予想したものとも違ったものなろうとしている」と。

ロータリーはどこへ行こうとしているのか。



順不同・敬称略

7月25日/12件 43,000円

97～98年度累計 281,432円

多額の寄付を有難うございます。

下村 渥(東京南)/宮本増強委員長に敬意を表して。柴藤清三郎/京都へ転勤することになりました。永らく大変ありがとうございました。小杉修造、宮本正祥、荒木昭文、河原勢自、吉岡琢磨、伊部和夫、岩瀬秀郎、高須康有、小原 健、高橋良士、紙面の都合上コメントを省略させて頂きました。

◎次週予定

8月8日/第523回例会

回卓話予定「金融ビッグバンの現実」

エレクトロニック・データ・システムズ(株) 社長
A.T. カーニー会長、東京日本橋RC会員

田 村 達 也 氏

東京新南ロータリークラブ

会長: 武下 朗 副会長: 山下忠治 幹事: 渡部一元

〒107 東京都港区赤坂 2-19-8 赤坂 2 丁目 アネックス 3 階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二朗、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)